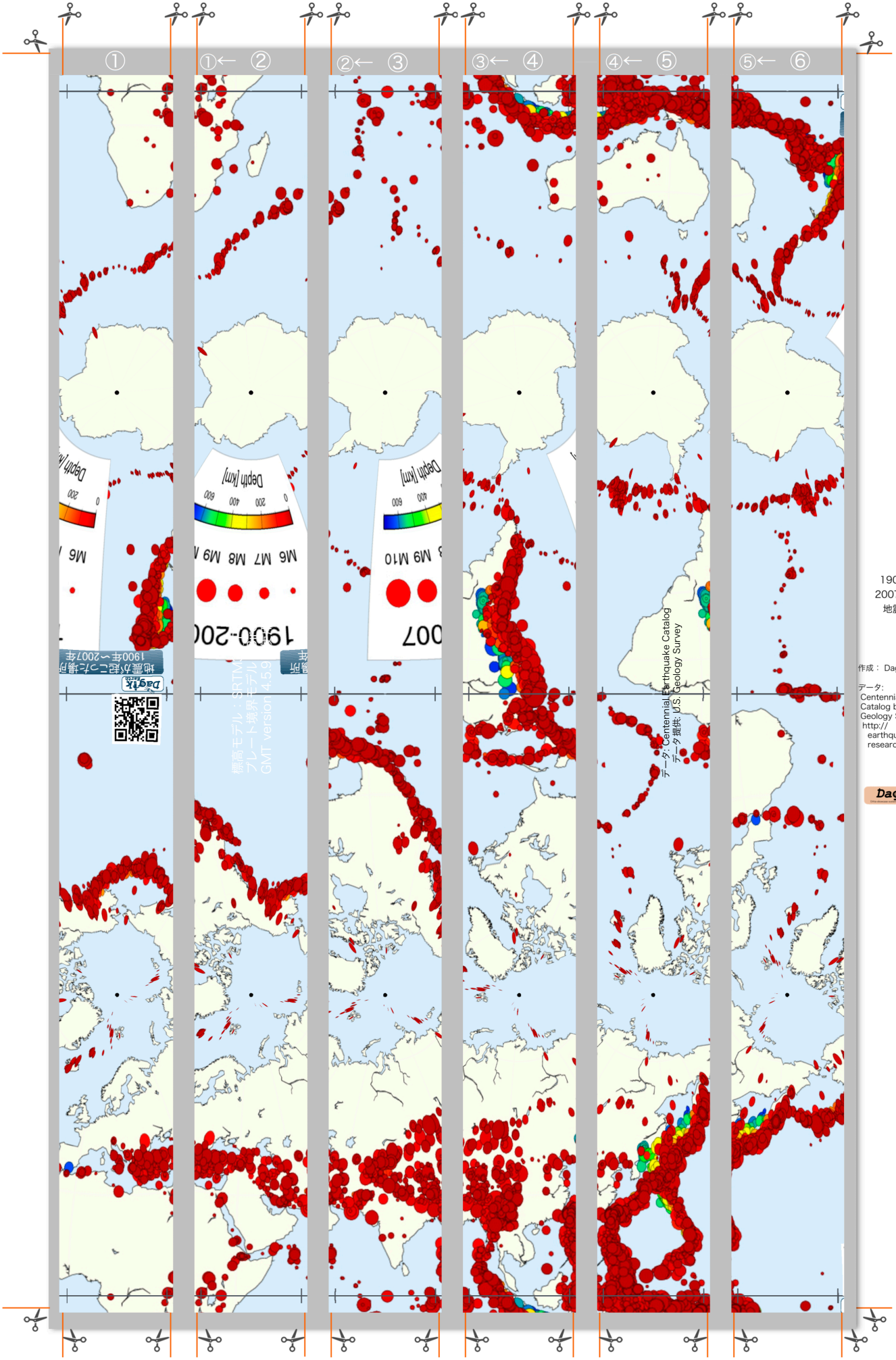


1900年から
2007年までの
地震の分布

作成： Dagik Team

データ:
Centennial Earthquake
Catalog by the U.S.
Geology Survey
http://
earthquake.usgs.gov/
research/data/
centennial.php

Dagik

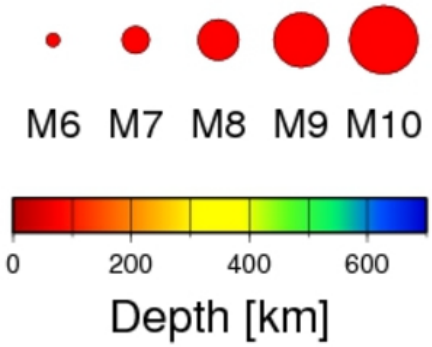
http://earth.dagik.org

1900年から2007年までの地震の分布

1900年から2007年までのマグニチュード６以上の地震の発生場所（震源）の分布です。
地震の強さ（マグニチュード）を円の大きさで表し、震源の深さを色で表しています。赤い色は浅い地震で、緑から青になると深い地震です。

データ: Centennial Earthquake Catalog
データ提供: U.S. Geology Survey
http://earthquake.usgs.gov/
データ画像作成: Dagik Team
作図にGeneric Mapping Tool
[Wessel and Smith 1998]を使用しています。

コンテンツ説明： http://dagik.org/L/12/1



手作り地球儀のつくり方：帯型シート（直径 7.5cm）

準備するもの
- 直径 7.5cm の球（ガチャガチャカプセルや発泡スチロール球など）
- 印刷する紙　（再剥離タイプのノーカットラベルシートがお勧め）
- カラープリンター（インクジェット式の方が色が剥がれずにきれいに作れます）
- カッターと定規　（あるいはハサミでも）
- スプーンなど硬いもの（貼り付けた後で、シワを伸ばすのに使います）

必要に応じて：
- のり　（ラベルシートではなく普通紙に印刷する場合は必要）
- 磁石や重り（ガチャガチャカプセルの場合はカプセルの中に磁石や重りを入れられます．発泡スチロール球の場合は、穴を開けて埋め込むことができます．）

（印刷する）

（1）拡大縮小をせずに 100% のサイズで印刷します．（画像が印刷されている帯の両端付近の線の間の長さが 23.5cm くらいに印刷されます．）

（切る）

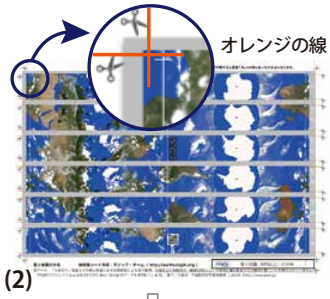
（2）オレンジの線（灰色と画像の境界ではなく）でまっすぐに切り取り、６本の帯にします．

（貼る）

（3）数字の順番に貼ります、まずは①の帯を貼りましょう．
（4）カプセル球の線と、型紙の赤道の線を合わせて貼ります．数字が書いてある所を下に重ねるよう、南極等の・マーク（黒点）も目印にしながら貼ります．
（5）球を両手で軽く握り、紙①をなじませます．
（6）次の②の帯を①の右側に貼ります．向きに注意してください．少しずつ重なるようになっていますので、赤道の短いたて線マーク ┼ を重ねてください．
（7）あとは同じように繰り返し線や画像ができるだけずれないように重ねて貼り合わせましょう．

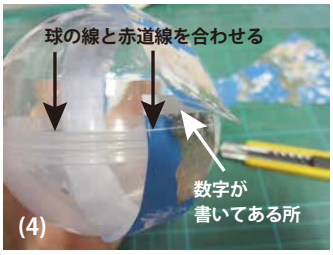
（シワを伸ばす）

（8）貼り付けた帯がよれて、シワになっている部分を、スプーンの背中（丸い方）でこすって伸ばし、平らにしてください．全ての帯を貼ってからこすっても良いですし、１枚の帯を貼るごとにこすっても良いです．

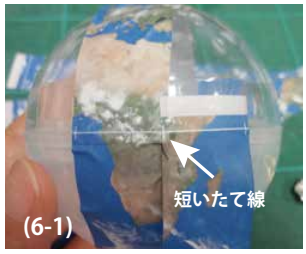


(2)

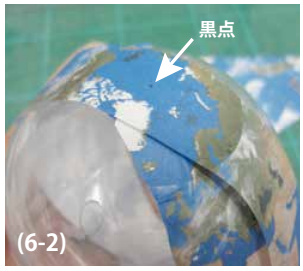
(3)



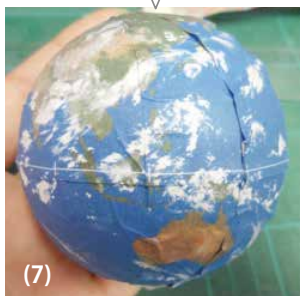
(4)



(6-1)



(6-2)


(7)